

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **05183853 A**

(43) Date of publication of application: **23 . 07 . 93**

(51) Int. Cl

H04N 5/781
G09G 5/00
H04N 5/782
H04N 5/93

(21) Application number: **03360109**

(71) Applicant: **MOTOHIRO SEISAKUSHO:KK**

(22) Date of filing: **28 . 12 . 91**

(72) Inventor: **HONMA YOSHINORI**

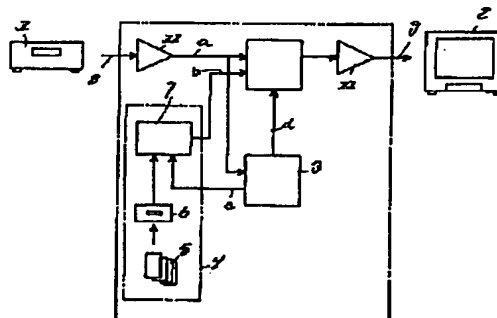
**(54) AUTOMATIC DISPLAY DEVICE FOR STILL
PICTURE**

(57) Abstract:

PURPOSE: To prevent a no-signal noise which is seen like a sandstorm from being generated on a TV and to displays the still picture such as a useful commercial message picture instead, for example, when VTR ends while an image is displayed on the TV by the VTR.

CONSTITUTION: This display device consists of a still picture output part 4 which outputs a still picture signal (b) to a display device 2 when a detection part 3 detects a state wherein a video signal (a) is not outputted.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-183853

(43)公開日 平成5年(1993)7月23日

(51)Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 5/781	E	7916-5C		
G 0 9 G 5/00	Z	8121-5G		
	A	8121-5G		
H 0 4 N 5/782	K	7916-5C		
5/93	E	4227-5C		

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平3-360109

(22)出願日 平成3年(1991)12月28日

(71)出願人 000155045

株式会社本宏製作所

新潟県西蒲原郡吉田町大字法花堂1949番地
1

(72)発明者 本間 義則

新潟県西蒲原郡吉田町大字法花堂1949番地
1 株式会社本宏製作所内

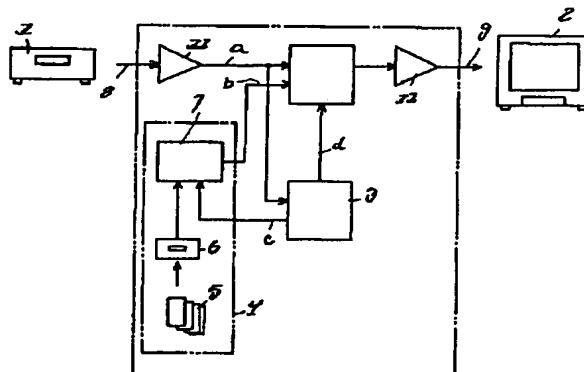
(74)代理人 弁理士 吉井 昭栄 (外2名)

(54)【発明の名称】 静止画像自動表示装置

(57)【要約】

【目的】 例えば、VTRでTVに映像を移し出している際、VTRが終わると、TVに砂嵐のように見える無信号ノイズが発生することを防止し、これに替えて有用なコマーシャル画像などの静止画像を表示する静止画像自動表示装置を提供すること。

【構成】 検知部3により前記映像信号aが出力されていない状態であると検知したとき、前記ディスプレイ装置2に静止画像信号bを出力する静止画像出力部4とで構成した静止画像自動表示装置。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 VTR装置などの映像装置からディスプレイ装置に映像信号が出力されている状態か否かを検知する検知部と、この検知部により前記映像信号が出力されていない状態であると検知したとき、前記ディスプレイ装置に静止画像信号を出力する静止画像出力部とで構成したことを特徴とする静止画像自動表示装置。

【請求項2】 前記静止画像出力部から出力される静止画像信号を変更設定自在となるように静止画像出力部を構成したことを特徴とする請求項1記載の静止画像自動表示装置。

【請求項3】 前記静止画像信号を記録したIC、メモ리카ード、ビデオフロッピなどの記録媒体を取り替え自在に設けた静止画像取り替え変更装置と信号出力部とを接続して前記静止画像出力部を構成したことを特徴とする請求項2記載の静止画像自動表示装置。

【請求項4】 VTR装置などの映像装置若しくはディスプレイ装置に内蔵したことを特徴とする請求項1記載の静止画像自動表示装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、例えば、VTRでTVに映像を映し出している際、VTRが終わると、TVに砂嵐のように見える無信号ノイズが発生することを防止し、これに替えて有用なコマーシャル画像などの静止画像を表示する静止画像自動表示装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】近年、店舗や見本市などにおいて、ディスプレイとVTRを組み合わせ、映像による商品説明や映像によるインテリア効果を向上させるディスプレイシステムが多用されている。

【0003】しかしながら、常時映像がディスプレイに映し出されているか否かをチェックしておくことができず、VTRが終わり映像信号がディスプレイに送られなくなると、非常に見苦しい砂嵐のような無信号ノイズがディスプレイに現れてしまう。

【0004】VTRに自動巻き戻し機能並びに自動再生機能を設けても、巻き戻しが終わるまでは無信号ノイズが現れる。

【0005】また、VTRを二台設け、自動切り替え装置により一方のVTRが終わると同時に他方のVTRに切り替える方法もあるが、VTRを二台以上使用することとなり、システムを二セット必要とすることと近似し、非常に高価となってしまう、切り替え後のスタート時には、無信号映像が入る可能性もある。

【0006】また、従来上記問題を解決するために無信号状態では画面に単色のカラーバックを表示するカラーゼネレータをディスプレイなどに内蔵した消極的な手法

もあるが、本発明は前記問題点を確実に解決すると共に、単にカラーバックを表示するに留まらず、無信号ノイズに替えて、コマーシャル画像や会社ロゴ画像などの静止画像を表示させて従来無駄に表示していた機会を積極的に活用し、安価に製作できる構成にして極めて有効に利用でき、前記ディスプレイシステムや、VTR、TVなどの商品価値を著しく高めることもできる静止画像自動表示装置を提供するものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】添付図面を参照して本発明の要旨を説明する。

【0008】VTR装置などの映像装置1からディスプレイ装置2に映像信号aが出力されている状態か否かを検知する検知部3と、この検知部3により前記映像信号aが出力されていない状態であると検知したとき、前記ディスプレイ装置2に静止画像信号bを出力する静止画像出力部4とで構成したことを特徴とする静止画像自動表示装置に係るものである。

【0009】前記静止画像出力部4から出力される静止画像信号bを変更設定自在となるように静止画像出力部4を構成したことを特徴とする請求項1記載の静止画像自動表示装置に係るものである。

【0010】前記静止画像信号bを記録したIC、メモ리카ード、ビデオフロッピなどの記録媒体5を取り替え自在に設けた静止画像取り替え変更装置6と信号出力部7とを接続して前記静止画像出力部4を構成したことを特徴とする請求項2記載の静止画像自動表示装置に係るものである。

【0011】VTR装置などの映像装置1若しくはディスプレイ装置2に内蔵したことを特徴とする請求項1記載の静止画像自動表示装置に係るものである。

【0012】

【作用】例えばVTR装置などの映像装置1のビデオテープが終わり、ディスプレイ装置2へ映像信号aが出力されるまで、静止画像出力部4から静止画像出力信号bに基づく映像に変わって静止画像信号bに基づく例えばコマーシャル画像や会社ロゴ画・商品ロゴ画像などの静止画像が表示される。

【0013】

【実施例】図1に請求項1～3記載の発明の一実施例の概略構成図を示す。

【0014】本実施例は、本装置の入力端子8を映像装置(VTR装置)1の映像出力端子と接続し、本装置の出力端子9をディスプレイ装置(TV)2の映像入力端子と接続する構成に設計している。

【0015】10は映像信号切り換え部であって、映像装置1から出力される映像信号aと、静止画像出力部4から出力される静止画像信号bとを入力し、映像信号aが出力されていない場合は、映像信号aの出力に替えて静止画像信号bを出力端子9へ出力し、再び映像信号aの

出力が再開されると映像信号aを出力端子9に出力させるものである。

【0016】3は、映像信号aが出力されている状態か否かを検知する検知部であって、具体的には例えば映像信号aに必ず含まれる同期信号の有無を検知し、同期信号があれば映像信号aが適正に映像装置1から出力されていると判断し、静止画像出力部4に作動信号cを出力すると共に、前記映像信号切り換え部10に切り換え作動信号dを出力するものである。

【0017】4は、静止画像出力部であって、静止画像信号bを記録したIC、メモリカード、ビデオフロッピーなどの記録媒体5を取り替え自在にセットできる静止画像取り替え変更装置6と信号出力部7とを接続して構成したもので、予め所定の静止画像を記録した記録媒体5を選んで静止画像切り換え変更装置6にセットしておくと、前記検知部3からの作動信号cによって、この静止画像信号bが信号出力部7から前記映像信号切り換え部10へ出力されるものである。

【0018】従って、本実施例では、例えばVTR装置1のテープが終わって映像信号aが出力されなくなると、再び映像信号aが出力されるまで、ディスプレイ装置2へ強制的に予め設定した記録媒体5の静止画像信号bが出力され、この静止画像信号bに基づく所定の静止画像が表示される。

【0019】例えば、記録媒体5にコマーシャル画像、お知らせ画像、会社ロゴ画像や商品ロゴ画像などを記録し、適宜表示させることができ、従来の見苦しい無信号ノイズ画像や、全く無駄に表示していたカラーバックと異なり、積極的にディスプレイ装置2を有効に利用するものとなる。

【0020】尚、図中符号11は増幅器である。

【0021】次に請求項4記載の発明の実施例について説明する。

【0022】例えば、VTR装置1に内蔵する場合は、VTR装置1から映像信号aが出力され得る状態（例えばテープ再生状態）の場合は、従来通りVTR装置1の映像出力端子には映像信号aが出力されるように構成し、映像信号aが出力されない状態の場合（例えばテープは再生状態にない場合）には、前記実施例の構成のよう

から出力されるように構成する。

【0023】この実施例においても、前記実施例と同様静止画像信号bを記録した取り替えメモリにより記録媒体5を設けた静止画像取り替え変更装置6を有するように設計することが望ましい。

【0024】

【発明の効果】本発明は上述のように構成したから、映像信号が出力されなくなると見苦しい無信号ノイズに替えて例えば、記録媒体に記録してあるコマーシャル画像やお知らせ画像、会社ロゴ画像、商品ロゴ画像などを適宜表示させることができ、見苦しい無信号ノイズの発生を確実に防止することができると共に、従来の見苦しい無信号ノイズ画像や、全く無駄に表示していたカラーバックと異なり、積極的にこの表示機会を利用してディスプレイ装置を有効に利用することができる極めて秀れた静止画像自動表示装置となる。しかも、本装置はコンパクトに設計でき、VTR装置を増台する必要もないので極めて安価にディスプレイシステムを構築できる。

【0025】また、例えば静止画像信号を記録したIC、メモリカード、ビデオフロッピーなどの記録媒体を取り替え自在に設けた静止画像取り替え変更装置と信号出力部とを接続して静止画像出力部を構成すれば、適宜静止画像の内容を極めて容易に変更設定でき、極めて実用性に秀れた静止画像自動表示装置となる。

【0026】また、本装置を映像装置若しくはディスプレイ装置に内蔵すれば、映像装置やディスプレイ装置の商品価値が著しく向上する。

【図面の簡単な説明】

【図1】請求項1～3記載の発明の実施例の概略構成図である。

【符号の説明】

- 1 映像装置
- 2 ディスプレイ装置
- 3 検知部
- 4 静止画像出力部
- 5 記録媒体
- 6 静止画像取り替え変更装置
- 7 信号出力部
- a 映像信号
- b 静止画像信号

(4)

特開平5-183853

【図1】

